

法藏館書店ニュース10月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2
法藏館重版案内 P2~3
法藏館刊行予定案内 P3~4
法藏館書店新着案内 P4~11

特集1: 揭示伝道法語集 P12~13
特集2: 『舌々二淘三帖和讃』販売開始! P14
お知らせ P15
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★ 10、11月の書店休業日

10月のお休み: 3日・10日・17日・24日・31日

11月のお休み: 7日・14日 ※11/21(日)、28(日)は営業いたします。

話題の本

- 図書新聞 (2021/9/11)
- 書標2021.9月号 (2021/9/5)

『神智学と仏教』

吉永進一著・碧海寿広解題・四六判・378頁
4,400円・ISBN: 978-4-8318-5564-0

- 宗教新聞 (2021/9/10)
- 世界日報 (2021/8/22)

『私が生まれてきた訳は —中村久子の声を聞く』

青木 馨著・四六判・114頁・2,200円
ISBN: 978-4-8318-5719-4

- 中外日報 (2021/9/10)

『正信念仏偈註解』

池田行信著・A5判・640頁・6,600円
ISBN: 978-4-8318-7925-7

- 新潟日報 (2021/9/5)

『吉田久一とその時代』

—仏教史と社会事業史の探求—
大谷栄一・大友昌子・永岡正己・長谷川匡俊
林 淳編・A5判・552頁・5,500円
ISBN: 978-4-8318-5563-3

- 中外日報 (2021/9/3)

『京の宮絵師 安川如風の描く

こころのぬりえ』

安川如風著・A4変判・40頁・1,430円
ISBN: 978-4-8318-6403-1

- 週刊読書人 (2021/9/3)

『伝教大師 最澄』

大久保良峻著・四六判・306頁・2,750円
ISBN: 978-4-8318-7744-4

- 日本歴史 9月号 (2021/9/1)

『本願寺教団と中近世社会』

草野顕之編・A5判・298頁・3,850円
ISBN: 978-4-8318-7728-4

- 中外日報 (2021/8/27)

『チベット仏教の世界』

永沢 哲編著・A5判・900頁・3,850円
ISBN: 978-4-8318-6390-4

- 中外日報 (2021/8/20)

『唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念 凝然教学の形成と展開』

一般財団法人 律宗戒学院編・B5判・462頁
11,000円・ISBN: 978-4-8318-6242-6

法蔵館新刊案内

◆真宗悪人伝

【真宗／仏教】

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8790-0

善信房親鸞、熊谷直実、弁円、慈信房善鸞、唯善、蓮崇、顕如、教如、智洞、金子大榮。浄土真宗の歴史に輝く、「悪人」たちの物語！

■目次

善信房親鸞 1 闇から光へ／2 出遇い／3 別離のとき／
4 教えに生きる／5 求道の跡
熊谷直実 平等の社会をもとめて／法然聖人と蓮生／
往生の予告

弁 円

慈信房善鸞 ほか

試し読み



◆悲劇の宗政家 前田誠節

じょう せつ

【近代史／仏教】

—— 臨済宗妙心寺派の近代史

藤田和敏著・四六判・202頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7749-9

廃仏毀釈の荒波を乗り越え、明治の新時代を背負った禅僧、前田誠節。封建的な仏教界の体質に立ち向かい、近代化事業を推し進めた改革者の生き様を追う。

■目次

第1章 若き日の前田誠節
1 幼年期から修行時代
2 教導職制度と臨済宗宗政の成立
3 「妙心寺派憲章」と妙心寺派宗政の展開
第2章 妙心寺派議会の開催と前田誠節の奮闘
第3章 前田誠節の失脚と妙心寺派の危機 ほか

試し読み



法蔵館重版案内

◆真宗新辞典 机上版

13刷

【真宗／仏教】

大原性実、星野元豊著・金子大榮監修・B5判・696頁・20,350円
ISBN:978-4-8318-7011-7

教義および歴史に関する新しい辞典。15年の歳月をかけて編集。典拠、用例を明らかにし、歴史においては最新の学問的成果をふまえ各派にわたる。項目4500・索引1万2千。読みやすい大字使用。

*「新装版 真宗辞典」(旧字体使用)からの抜粋。現代字使用・大字。



◆正信念仏偈註解

2刷

【仏教／真宗】

池田行信著・A5判・640頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-7925-7

『六要鈔』『正信念仏偈』の聖教をはじめとして、江戸期の重要な解釈、近・現代の理解を東西にわたって注意深く収集。従来の解釈を網羅し、諸師の理解を素早く確認することができる、『正信念仏偈』を正しく理解するための資料集。

■目次

【序 論】

- 一 『正信念仏偈』の位置
- 二 なぜ『正信念仏偈』を作ったのか
- 三 『正信念仏偈』の名称
- 四 『正信念仏偈』の構成

【偈文註解】

- I 帰敬偈
- II 依経段
- III 依釈段
- 七高僧によって教義を説く



ほか

法蔵館刊行予定案内

〈2021年11月 刊行予定〉

◆改訂 歴史のなかに見る親鸞

法蔵館文庫

平 雅行著・文庫判・295頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2628-2

【歴史】

歴史研究者として数多の親鸞の事蹟の真偽を究明する一方、民衆の苦難と自らの思想信条とはさまで悩み苦しむ親鸞の姿をも描きだす。

◆東洋の合理思想

法蔵館文庫

末木剛博著・文庫判・323頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2629-9

【哲学】

東洋思想に論理はどのような形で存在するのか。インド、中国仏教、中国古典を分析し、非自我中心的な「楕円思考」の構造を見いだす。

聖徳太子千四百年御聖忌記念出版

◆聖徳太子と四天王寺

四天王寺編・B5変判・予300頁・予3,000円・ISBN:978-4-8318-6070-5

【仏教】

聖徳太子が創建して千四百年にわたり日本仏教界にとって重要な寺院である四天王寺。発掘、歴史、史料、美術等の最新成果を第一線の研究者が考察。四天王寺研究に必読の書。

シリーズ宗教と差別(全4巻)

監修＝磯前順一・吉村智博・浅居明彦

◆第1巻 差別の構造と国民国家——宗教と公共性

上村 静、菊田真司、川村寛文、関口 寛、寺戸淳子、山本昭彦編

A5判・300頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5721-7

【宗教／社会】

政治学、宗教学、歴史学、民俗学、人権学など多領域から差別の構造を問い直す書。

◆中世真宗の儀礼と空間

山田雅教著・A5判・380頁・6,820円・ISBN:978-4-8318-7924-0

【仏教／真宗】

現代の真宗儀礼に影響を与えながらも、今日とは様相を異にする中世の儀礼はどんなものであったのか。儀礼の変遷と儀礼空間、そして礼拝対象の掛け軸について考察。

法 蔵 館 書 店 新 着 案 内

◆くり返し読みたい 親鸞

〈リベラル社〉

釈 徹宗監修、臼井 治画・四六判・158頁・1,320円

一途に阿弥陀さまを信じ、念仏の教えを広めた親鸞。
鎌倉時代を代表する仏教者が遺した言葉から明日からを精一杯生きるヒントを美しい日本画とともにやさしく紹介。
絵巻物風の豪華特別帯つき!

■目次

- 第1章 自分と向き合う言葉
- 第2章 悩みから抜け出す言葉
- 第3章 人とのつながりを感じる言葉
- 第4章 心を強くする言葉 ほか



帰京後の親鸞——明日にともしびを④

◆七十四歳の親鸞——覚信尼とその周囲の人びと

〈自照社〉

今井雅晴著・B6判・82頁・1,100円

親鸞聖人の晩年30年に迫るシリーズ《全15冊》の第4冊。
聖覚法印『唯信鈔』、隆寛律師『自力他力事』を写した74歳の聖人の動向と、末娘・覚信尼を手がかりとして当時の京都の情勢を考察する。

■目次

- 1 親鸞の子どもたち
- 2 覚信尼の成長と結婚、覚恵の誕生
- 3 久我通光の活躍
- 4 通光の兄弟 証空・道元 ほか



◆生死出ずべき道

〈真宗大谷派大阪教区第十二組〉

—— コロナの時代、私たちはいかに生きるべきか

一楽 真講述・A5判・45頁・200円

この冊子は2021年6月21日に開かれました真宗大谷派大阪教区第十二組「女性のための真宗講座」にて、大谷大学の一楽真先生にお話いただいた内容をまとめたものです。

■目次

はじめに

後世を祈る

生死出ずべき道

ただ念仏

コロナ禍を超えて

寛喜の内省

とらわれの心、自力の心

他力の信心うるひとを



◆イラストで知ろう！ 東本願寺

〈東本願寺出版〉

かたおか朋子絵・A5判・111頁・660円

建築からおかざり、防災設備、境内地のことまで。イラストでこそ描けるわかりやすさを活かして、東本願寺のあれこれをたずねる。 ※本書は、月刊誌『同朋』（2017年1月号～2018年12月号）に連載した内容を加筆修正し、書籍化したものです。

■目次

東本願寺の代表的な建物

建物について知ろう！

おかざりについて知ろう！

境内について知ろう！

防災について知ろう！

渉成園について知ろう！

もっと知りたい！



◆生命の足音 37号

〈大阪教区教化センター〉

大阪教区教化センター編・A5判・426頁・1,650円

■目次

巻頭言……大町慶華

『現代と宗教』講義……和田 綱

第十二講 浄土真宗の時と世

第十三講 浄土真宗に生きるとはどういうことなのか

第十四講 真宗が願かにしている世界

現代教学研究班報告……頼尊恒信・長井正純・榊原泰生

「寺院・諸施設のバリアフリー研究Ⅲ——バリアフリーの実際」

教学儀式研究班報告……池田英二郎・高島 章・北畠 玄

「本願寺の相伝の歴史」

『法幢御札』

「香月院深励師の教学と相伝教学の相違——儀式と教学の関係性を念頭において——往相廻向・還相廻向の二種廻向の問題」 ほか



◆法語ポスター (法語カレンダー2022年版)

〈本願寺出版社〉

本願寺出版社制作・B3判・13枚一組・ビニール巻・1,100円

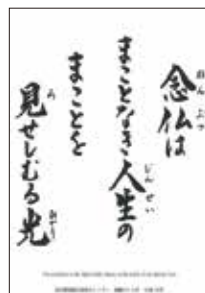
真宗教団連合「法語カレンダー」の法語がポスターに。
2022(令和4)年の法語カレンダーは「宗祖親鸞聖人に遇う」を
テーマとした13法語が選ばれています。
寺院の掲示伝道等にご活用ください。

■目次

【表紙のことば】念仏は、まことなき人生のまことを見せしむる光 正親含英

【一月のことば】きょうもまた 光り輝く み仏の お顔おがみて うれしなつかし
稲垣瑞剣

【二月のことば】ふみはずしましたが気がつけばこも仏の道でございました
榎本栄一 ほか



◆月々のことば (2022年版)

〈本願寺出版社〉

安藤光慈、村上泰順、波北 顕、清岡隆文著・B6判・175頁・770円

『法語カレンダー(2022年版)』の月々の法語のころを安藤光
慈(本願寺派司教)、村上泰順(元相愛高校教諭)、波北顕
(本願寺派布教使)、清岡隆文(元龍谷大学教授)の各氏が
分担執筆。『法語カレンダー』に選ばれた珠玉のお言葉のこ
ろを、繰り返し味わっていただくことができる法味愛楽の書。

■目次

表紙のことば、1月のことば、2月のことば、3月のことば……安藤光慈

4月のことば、5月のことば、6月のことば……村上泰順

7月のことば、8月のことば、9月のことば……波北 顕

10月のことば、11月のことば、12月のことば……清岡隆文



◆心に響くことば (2022年版 令和4年カレンダー法語解説冊子)

山本攝叡著・新書判・82頁・132円

〈本願寺出版社〉

浄土真宗のみ教えを味わうことのできる法語を掲げた『法語
カレンダー(2022年版)』。その法語それぞれにやさしい法語を
付した施本向きの小冊子。短編法話13編で構成されており、
法語カレンダーをより深くあじわえる一冊。

■目次

表紙 念仏は、まことなき人生のまことを見せしむる光

一月 きょうもまた 光り輝く み仏の お顔おがみて うれしなつかし

二月 ふみはずしましたが気がつけばこも仏の道でございました

三月 われ称え われ聞くなれど 南無阿弥陀 つれてゆくぞの 親のよびごえ

四月 如来の本願は、風のように身に添い、地下水のごとくに流れ続ける
ほか



◆季刊せいてん No.136

〈本願寺出版社〉

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・67頁・700円

『いつでも歎異抄』(本願寺出版社)の刊行を記念した「深掘り歎異抄」のパート2です。今回も、「歎異抄エレベーター」に乗り込み、『歎異抄』の奥深い世界へ降りていきます。『歎異抄』を深掘りすると見えてくる親鸞聖人の思い、唯円の思い、そして阿弥陀仏の大悲のおこころ。

■目次

- 特集 「深掘り歎異抄 2——『いつでも歎異抄』刊行記念——」
- はじめの一步 1 江戸時代の庶民的な仏教書とお説教 5……和田恭幸
- はじめの一步 2 幸せてなんだろう
——悪人正機の倫理学——19……藤丸智雄
- 聖典セミナー 『恵信尼消息』(新)……山本攝叡 ほか



◆超訳 こころに響く親鸞のことば

〈三笠書房〉

境野勝悟著・文庫判・222頁・748円

「太陽さえあれば、心配無用」「けっして一人ぼっちじゃない」「安心して苦勞せよ」「感謝が悪人を変える」……。一瞬で救われる、親鸞の99の言葉をわかりやすく「超訳」で解説する。

■目次

- 第1章 光明とは何か? 「生きる道」を照らしてくれる親鸞の言葉
- 第2章 極楽はどこに? 不安や怒りを静めてくれる親鸞の言葉
- 第3章 なぜ他力なのか? 仏さまの力を教えてくれる親鸞の言葉
- 第4章 善とは、悪とは? 「悪人」までも救ってくれる親鸞の言葉
- 第5章 一心に生きよ 日々を悠然と過ごすための親鸞の言葉



◆浄土の哲学——念仏・衆生・大慈悲心

〈河出書房新社〉

守中高明著・四六判・270頁・3,025円

法然、親鸞、一遍の他力思想を最も新しく最も根源的な解放の哲学として甦らせ、危機の時代に浄土コミュニオンをよびよせる渾身の書き下ろし。

『他力の哲学』をさらに深化させた名著誕生。

■目次

- 序 バンデミックと祈り——危機の時代、回帰する浄土
- 第Ⅰ部 浄土と衆生——法然、親鸞、そして一遍へ
- 第Ⅱ部 他力の論理学
- 第Ⅲ部 大慈悲の倫理学
- 第Ⅳ部 浄土革命のほうへ



岩波新書 新赤版1891

◆死者と霊性——近代を問い直す

〈岩波書店〉

末木文美士編・新書判・256頁・946円

大震災、原発事故、コロナ禍は見えざるものの力を知らしめた。死者たちと私たちの関係にも、いま変化が生じている。独自の思索を続けてきた5名。末木文美士、中島隆博、若松英輔、安藤礼二、中島岳志、死者と霊性をめぐっての白熱した討議をまとめる。

■目次

第Ⅰ部

はじめに——コロナ禍のなかで

死者とのつながり方

転換期としての2000年代 ほか

第Ⅱ部

「近代」のとらえ方

19世紀のグローバリ化と神智学

インドの近代と霊性 ほか



角川ソフィア文庫J135-1

◆日本人の葬儀

〈KADOKAWA〉

新谷尚紀著・文庫判・470頁・1,408円

日本人の「葬儀」はどのような歴史をたどってきたのか。各地に伝わる葬送や墓制の実態と意味を検討し、そこに現れる日本人の死生観、他界観、民俗的心性を探る。現代人の終末を考える基礎となる民俗学の名著。

■目次

Ⅰ 葬儀の深層 一章 葬送儀礼／二章 米の霊力

三章 火とケガレ／四章 生と死と水辺の石

Ⅱ 葬儀の歴史 一章 古代天皇の葬送と殯宮／二章 平安貴族

の葬送儀礼／三章 中世の葬儀／四章 近世の葬送習俗 ほか



講談社現代新書2527

◆地獄めぐり

〈講談社〉

加須屋誠著・新書判・230頁・1,100円

なぜ私たちは「地獄」に惹きつけられ、魅了されるのか。古代から近代までの、「地獄」を描いた作品を考察し、その理由を具体的かつ実証的に解き明かす。豊富な図版、地獄から生還した人たちの「証言」も収録。

■目次

第1章 地獄の誘惑

第2章 地獄へ旅立つ

第3章 地獄をめぐる

第4章 閻魔王の裁き

第5章 地獄絵を観た人たち

第6章 地獄からの生還者たち

第7章 地獄の衰退と復興



◆ゴータマ・ブッダ その先へ—— 思想の全容解明

羽矢辰夫著・四六判・222頁・2,420円

〈春秋社〉

無情も因果もあたりまえ。ならばゴータマ・ブッダの真意はどこにあるのか？ 原始仏教研究者が、五蘊の行(サンカラ)の新解釈を通じて、十二因縁や無我到代表されるゴータマ・ブッダの全容を明らかにする。

■目次

- 第一章 十二因縁その先へ
- 第二章 縁起その先へ
- 第三章 無常・苦・非我その先へ
- 第四章 四諦その先へ
- 第五章 無我その先へ



岩波文庫 青345-2

◆梵文和訳 華嚴経入法界品(中)

〈岩波書店〉

梶山雄一、丹治昭義、津田真一、田村智淳、桂 紹隆訳注・文庫判・423頁・1,177円

求道の青年・善財童子の遍歴物語。伝来以来、日本人の思惟、文化に絶大な影響を与えてきた大乘經典の精華を、サンسكريット原典から現代日本語に初完訳。中は、第十八章から第三十八章までを収録する。

■目次

- 善財童子が歴訪する善知識たち
- 第18章 マハーブラバ王
- 第19章 アチャラー優婆夷
- 第20章 遊行者サルヴァガミン
- 第21章 香料商ウトパラブーティ ほか



◆運命を好転させる隠された教え チベット仏教入門

〈幻冬舎〉

平岡宏一著・四六判・245頁・1,540円

自分の心が変わらなければ、運命は変わらない。しかし、仏教を正しく実践すれば自分の心を、運命を変えることができる。チベット仏教の教えを元に、仏教とは何か、その実践方法までを解説する。

■目次

- 第一章 悪業を浄化する
- 第二章 菩提心とは何か
- 第三章 忍辱 怒りの感情に急ブレーキをかける工夫
- 第四章 精進 善きことを積極的に行う理由
- 第五章 禅定 幸せになるための隠された教え



新典社研究叢書338

◆『扶桑略記』の研究

〈新典社〉

扶桑略記を読む会編・A5判・294頁・9,460円

12世紀初頭までに成立したとされる私撰史書・扶桑略記。説話や縁起を取り込む点で官撰の史書とは性格が異なり、難解なことでも知られるその特質に、8名の研究者が仏教と文学の視点から切り込む。

■目次

『扶桑略記』の研究史と今後の可能性(三好俊徳)
『扶桑略記』の成立圏と編者について
——巻二〇(陽成天皇紀)の注釈をふまえて(田中徳定)
『扶桑略記』と仏教—戒関係記事に注目して(三好俊徳)
『扶桑略記』の史的意義(佐藤愛弓) ほか



◆語られ続ける一休像

〈ペリカン社〉

——戦後思想史からみる禅文化の諸相

飯島孝良著・A5判・382頁・6,380円

室町時代を生きた一休宗純。その実証研究と、前田利鎌、芳賀幸四郎、市川白弦、柳田聖山などの知識人が語る一休〈像〉の変遷を戦後思想史の一断面として捉え、〈語り〉のイメージリーディングの新たな地平を探る。

■目次

まえがき 日本人を魅する「面構え」——個人的な体験から
序 論 一休の〈像〉は如何に形成されてきたか——室町期から戦後日本へ
第一章 一休像の近代的「発見」——前田利鎌の「禅」を手がかりに
第二章 戦後日本における中世禅文化論と一休の像——芳賀幸四郎を中心に
第三章 市川白弦の一休像——「即」の論理の批判的継承として ほか



◆世界でいちばん素敵なお寺の教室

〈三オブックス〉

松島龍戒監修・A5判・157頁・1,760円

お寺って、なんのためにあるの？ 千手観音の手は本当に1000本あるの？ 一度は行きたい絶景寺院からいつかは拝みたい有名仏像まで、お寺にまつわるさまざまな秘密を、美しい写真とシンプルなQ&Aでわかりやすく伝える。

■目次

★お寺って、なんのためにあるの？
★日本でいちばん古いお寺はどこ？
★奈良時代にはどんなお寺がつくられたの？
★お寺にはどんな建物があるの？
★お寺の入口に建つ三門の「三」って、なんの意味？ ほか



◆お寺の掲示板—— 諸法無我

〈新潮社〉

江田智昭著・A5変判・96頁・1,100円

「その通り!」——思わず人生を考えてしまう、至極の言葉のオンパレード! 「コロナより怖いのは……」「ボートと生きてもいいんだよ」「隣のレジは早い」など、お寺の門前に掲げられた傑作標語をセレクト。人間の本性を鋭くあぶり出すものから、善く生きるための指針となるものまで、お坊さんが考えに考え抜いた言葉が、パワーアップして帰ってきた!



■目次

- 第一部 今!……人間の本性/儚いからこそ美しい/悲しみもまたご縁として/阿弥陀、動きます。 ほか
第二部 無常!……裁きたがる人々/「わかっている」という煩惱/比較は苦しみ始まり ほか
第三部 あの人の、あの言葉……高倉健の人生哲学/アントニオ猪木の人生訓 ほか

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 10月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 中村明珍さん(僧侶)
素のまま、素材のまま届けるような表現をしていきたい。
◎特集 アイヌに学ぶ
・小林聡美のぼちぼち是好日
・東本願寺界隈 今昔物語……「京都緑風荘」 ほか



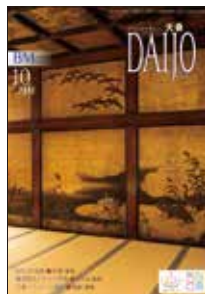
◆大乘 10月号

大乗刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適! 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

- ・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:満井秀城さん
・DAIJO法話「仏教を身につける」……宇治和貴
・マンガ お釈迦さま物語「出家」……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる
・親鸞聖人からのお手紙……佐々木義英 ほか



特集1

※=978-4-8318

『お寺の掲示板 諸法無我』発売記念！

掲示伝道法語集

『お寺の掲示板』の大ヒットで空前の盛り上がりを見せる掲示伝道シーン。

これ以外にも法語・標語などを集めた本が続々と発売されています。

今回は『お寺の掲示板』第2弾の発売にちなみ、近年のものを中心に掲示伝道の参考となる書籍を特集します。

◆お寺の掲示板

江田智昭著・A5変判・95頁・1,100円(新潮社)

多くのメディアで紹介され、現在の「掲示板ブーム」の火付け役となったベストセラー。昔ながらのものから進化系？まで、工夫を凝らした言葉を楽しみながら仏の教えに触れることができます。



◆ひとくち法話——知っておきたい言葉たち

中村 薫著・四六判・144頁・1,430円・※8773-3(法蔵館)

昨年ご逝去された中村薫先生の、『ひとくち法話 いま伝えたい言葉』に続く短編法話集。安田理深、金子大榮、毎田周一らの62の格言と、それぞれに対するご自身の思いが綴られています。



好評発売中！

◆ひとくち法話 いま伝えたい言葉

中村 薫著・四六判・152頁・1,430円・※8708-5(法蔵館)

心に響く仏教者や哲学者らの名言から、現代の問題を照らした短編法話集。



◆1000の言葉

方丈堂出版編集部編・四六判・193頁・1,650円(方丈堂出版)

釈尊から野比のび太まで、さまざまな人物の1000の言葉を、解説・分類なしにひたすら詰め込んだ一冊。何気なく開いたページに、ハッとすることの言葉との出会いがきつとあります。



◆心の窓——街角の掲示板

那須信孝著・A5判・139頁・1,320円(方丈堂出版)

聖典をはじめ有名無名の人びとの言葉、著者自作の言葉など、約50年にわたって掲示板に掲げた600余りの法語から約150首を収載。難しい語句や世相を反映したものについては、説明も添えられています。



◆ことばの贈物

岩波文庫編集部編・文庫判・222頁・770円(岩波書店)

◆ことばの花束

岩波文庫編集部編・文庫判・208頁・792円(岩波書店)

岩波文庫で発売されている数々の名作から、珠玉の言葉を集めたアンソロジー。仏教的な言葉を集めたものでないにもかかわらず、多くの言葉から仏教的な視点が見出せます。



在庫僅少！

◆月のことば——八百号記念

若藤会編・B6判・103頁・1,100円(自照社出版)

京都の真宗僧侶有志による「若藤会」が昭和27年から毎月作成している掲示法語「月のしるべ」「月のことば」をまとめた一冊。本書には701号から800号までの法語100篇を収載。

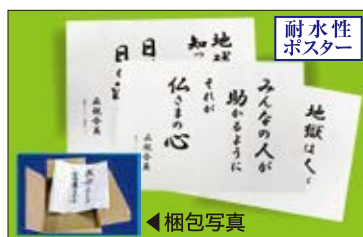


■すぐに使える伝道掲示ポスター！

◆お寺さんの掲示板『観経のころ』

正親含英ことば・B3判・12枚・4,180円
※9932-3(法蔵館)

歎異抄の背景に流れる観無量寿経のころを身近な譬えを交え語る『新装版 観経のころ』から正親師のことばを厳選。伝道掲示ポスター12枚と自作掲示板にも使える白奉書紙1枚セット。雨に強く環境に配慮した特殊紙を使用。



◀ 梱包写真

特集2

80年ぶり！ 待望の復刻版 販売開始！

※直販のみの取り扱いになります。

『^ぜ舌々^ぜ二^{ふたつゆり}淘三帖和讃』

編集者：清澤勝兼、井澤勝什 発行・印刷／西村七兵衛 1937年／法蔵館

三帖和讃すべてに二淘を付した唯一の声明本、80年ぶりに待望の復刻。
正信偈（草四句目下）、正信偈（舌々）、念仏と回向は、二淘に加え、
朱で三淘の節譜も付す。

目次

はし書

- 一 正信偈 草四句目下
- 一 正信偈 墨譜
- 一 念仏 二淘三淘
- 一 回向 二淘三淘
- 一 三帖和讃 二淘
- 一 短念仏回向



体 裁：11cm×15cm・222丁・束巾18mm・和本袋綴・函入り／2色刷り
本文紙：優美紙

数量限定での販売になります。
お早めにお買い求め下さい。

定価

13,200

円(税込)

—— 最高水準の職人技による、“ほんまもん”の京(経)和本 ——

数少なくなった熟練の職人が作る伝統的な和綴じ本で復刻。

11月からの入荷予定ですが、手作業製本のため、ご納品に少々お時間をいただきます。

予約先着順に発送いたしますので、何卒ご了承ください。

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ:「法華經の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第4回 リモート無

10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員:120〉

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

第3回 9月11日開催の「宗教文化講座」は延期となっております。

今後の開催時期など、詳しくは下記まで。

開催
情報

延期となっております。第2回「宗教文化講座」の開催日が下記の通り決定いたしました。

第2回 リモート可

11月13日(土)「日本仏教における法華信仰の変遷」

〈池上本門寺「朗峰会館」(東急池上線池上駅から徒歩15分)・定員150〉

東京大学 人文社会系研究科教授 蓑輪顕量氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL: 075-682-1625 FAX: 075-682-1722

Eメール: shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

(法蔵館、2021年)

ショバ・ラニ・ダシュ 著『パーリ語文法——仏典の用例に学ぶ』

ご利用者のためのパーリ語発音の解説動画です。

発音解説01:基本

第1課「文字と発音」の基本的な発音について説明します。

<https://youtu.be/pGrUMw5rz88>



発音解説02:練習問題

第1課「文字と発音」の練習問題の発音を説明します。

https://youtu.be/RmlpY_dLjyU



◆パーリ語文法——仏典の用例に学ぶ

ショバ・ラニ・ダシュ著 4,400円

ISBN: 978-4-8318-7735-2

最古のパーリ語文典『カッチャヤナ』に基づく解説と仏典由来の豊富な文例。初学者から上級者まで実践に役立つ基礎30課。



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(9月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
3	『鬼滅の刃』で学ぶ はじめての仏教	松崎智海	PHP研究所	1,463円
4	生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
5	正信偈講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
6	浄土論註講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
7	婆 ぼ 数 す 槃 ばん 豆 ず 伝——インド仏教思想家ヴァスバンドゥの伝記	船山 徹	法藏館	2,750円
8	観音菩薩の化身 聖徳太子——浄土真宗「和国の教主」	本願寺出版社	本願寺出版社	880円
9	親鸞とマルクス主義——闘争・イデオロギー・普遍性	近藤俊太郎	法藏館	8,250円
10	梁の武帝——仏教王朝の悲劇 【法藏館文庫】	森三樹三郎著 船山 徹解説	法藏館	1,100円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
仏教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
仏教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]
月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>
法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中～!

